



新年ご挨拶

一般社団法人 青森県建設業協会
会 長 鹿 内 雄 二

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素より一般社団法人青森県建設業協会に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。

昨年は、岩木川改修百周年でした。江戸時代、岩木川周辺は川の豊かな土壌を利用して新田開発が行われましたが、同時にその田んぼを洪水が破壊し人の命を奪う存在でもありました。それを防ぐため江戸時代より奮闘しましたが治まらず、大正七年に国直轄工事として本格的な治水工事が開始されました。それからは、建設業の先人達が、苦勞して水戸口突堤や築堤などの整備を行い水害防止に努め、岩木川流域の命と暮らしを守って百年経過しました。

現在、異常気象による洪水や土砂崩れ、地震など自然災害が多発しています。ハード面の施設整備はもちろん、災害が起きたときにも、警察や消防に目がいきがちですが、建設業者も現場に一番に駆けつけ、状況の確認、復旧整備を行政と一緒にやって行い対処に当たっています。

今、国と県では、国土強靱化基本法に基づく「地域計画」が策定され国土強靱化を行うとしております。災害に強い施設等の整備、災害への対応、迅速な復旧、復興には、岩木川同様私ども青森県建設業協会も行政と一緒に貢献して参る所存でございます。

しかし、現在の建設業界では、高齢化と入職者の減少が著しく、会社の存続はもとより災害への対応への危機も懸念されております。このため、青森県建設業協会では、担い手確保のためには魅力ある建設業にする必要があるとして、国で昨年策定した「建設業働き方改革加速化プログラム」に基づき、「働き方改革」に積極的に取り組んでおります。

具体的には、昨年国土交通省青森河川国道事務所・県等と協力して、6月7月の第四土曜日に県内公共工事を一斉休業する週休二日普及促進DAY等、長時間労働の是正に取り組みました。

また、社会保険や退職金共済制度の加入促進及び建設技能者の能力評価のための建設キャリアアップシステムを推進する等、処遇の改善にも努めています。

さらに、i-Construction や書類作成等の効率化や人材育成を行う等、生産性向上にも取り組んでいます。

今年もより一層働き方改革に取り組み、建設業を、3 K（きつい、汚い、危険）から新3 K（給料が良い、休日が取れる、希望が持てる）にし、魅力ある建設業にしていきたいと考えております。

関係各位には、今まで以上のご高配を賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝とご隆盛を心より祈念して、新春のご挨拶とさせていただきます。